

1 基本計画書

目 次

- 1 基本計画書
- 2 教育課程等の概要
- 3 授業科目の概要
- 4 補足資料（組織の移行表）

基本計画書

基本計画書										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	研究科の専攻に係る課程の変更									
フリガナ 設置者	ガッコウホジツン アイチカクイカク 学校法人 愛知医科大学									
フリガナ 大学の名称	アイチカクイカクイカク 愛知医科大学大学院 (Graduate School of Aichi Medical University)									
大学の位置	愛知県長久手市岩作雁又1番地1									
大学の目的	本大学院は、医学及び看護学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。									
新設研究科等の目的	本博士後期課程は、専門的かつ高度な研究遂行能力を有する自立した研究者及び高度な看護実践能力と高い研究・管理能力を有する臨床現場の変革者を養成することを目的とする。									
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部】 ・看護学部看護学科 ・看護学研究科看護学専攻(修士課程) 14条特例の実施
	計	年	人	年次人	人	博士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	令和7年4月第1年次	愛知県長久手市岩作雁又1番地1	
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	令和7年4月名称変更予定 看護学研究科看護学専攻修士課程 → 看護学研究科看護学専攻博士前期課程									
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数				修了要件単位数				
	看護学研究科 看護学専攻 (博士後期課程)	講義	演習	実験・実習	計	18 単位				
	15 科目	12 科目	— 科目	27 科目						
新設	研究科等の名称		専任教員					助手	専任教員以外の教員 (助手を除く)	
			教授	准教授	講師	助教	計			
	看護学研究科 看護学専攻(博士後期課程)		11人 (11)	10人 (10)	—人 (—)	—人 (—)	21人 (21)	—人 (—)	5人 (5)	
	計		11人 (11)	10人 (10)	—人 (—)	—人 (—)	21人 (21)	—人 (—)	5人 (5)	
既設	研究科等の名称							助手	専任教員以外の教員 (助手を除く)	
										教授
	医学研究科 基礎医学系専攻 臨床医学系専攻		63人 (63)	5人 (5)	—人 (—)	—人 (—)	68人 (68)	—人 (—)	2人 (2)	
	看護学研究科 看護学専攻(修士課程)		9人 (9)	13人 (13)	1人 (1)	—人 (—)	23人 (23)	—人 (—)	188人 (188)	
	計		72人 (72)	18人 (18)	1人 (1)	—人 (—)	91人 (91)	—人 (—)	190人 (190)	
	合計		83人 (83)	29人 (29)	1人 (1)	—人 (—)	113人 (113)	—人 (—)	195人 (195)	
	職 種		専 属			そ の 他		計		
	事 務 職 員		274 (274)			55 (55)		329 (329)		
	技 術 職 員		67 (67)			13 (13)		80 (80)		
	図 書 館 職 員		2 (2)			0 (0)		2 (2)		
	そ の 他 の 職 員		1,684 (1,684)			325 (325)		2,009 (2,009)		
	指 導 補 助 者		0 (0)			0 (0)		0 (0)		
	計		2,027 (2,027)			393 (393)		2,420 (2,420)		

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借地面積： 8,256.94㎡ 賃借期間： 令和3年 9月30日 (以降自動更新)			
	校 舎 敷 地	161,769.41 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	161,769.41 ㎡				
	そ の 他	148,863.99 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	148,863.99 ㎡				
	合 計	310,633.40 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	310,633.40 ㎡				
校 舎	専 用	56,621.56 ㎡ (56,621.56 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	56,621.56 ㎡ (56,621.56 ㎡)	大学全体			
	講義室	24 室	実験・実習室	50 室	演習室	70 室	新設研究科等の 専任教員研究室	20 室	大学全体
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点	学部等単位での特 定不能のため、大 学全体の数	
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	看護学研究科 看護学専攻	102,794 [23,990] (102,794 [23,990])	8,196 [42] (8,196 [42])	4,340 [2,274] (4,340 [2,274])	3,875 [2,262] (3,875 [2,262])	— (—)	— (—)		
	計	102,794 [23,990] (102,794 [23,990])	8,196 [42] (8,196 [42])	4,340 [2,274] (4,340 [2,274])	3,875 [2,262] (3,875 [2,262])	— (—)	— (—)		
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	研究科単位での算 出不能のため、学 部との合計
		教員1人当り研究費等		350千円	350千円	350千円	—千円	—千円	
		共同研究費等		3,000千円	3,000千円	3,000千円	—千円	—千円	
		図書購入費	185,377千円	185,377千円	185,377千円	185,377千円	—千円	—千円	
		設備購入費	1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	—千円	—千円	
	学生1人当り 納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次		
		1,000千円	700千円	700千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入，法人内資産移動などを充当する。							
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 等 の 名 称	愛知医科大学大学院							
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	開設 年度	所 在 地
	医学部 医学科	6	115	—	690	学士（医学）	1.04	昭和47 年度	愛知県長久手市岩 作雁又1番地1
	看護学部 看護学科	4	100	—	400	学士（看護学）	1.03	平成12 年度	
	大学院 医学研究科 基礎医学系専攻	4	13	—	52	博士（医学）	0.51	昭和55 年度	
	臨床医学系専攻	—	17	—	68	—	1.08	—	
看護学研究科 看護学専攻	2	15	—	30	修士（看護学）	1.20	平成16 年度		
附属施設の概要	<p>名 称：愛知医科大学病院（中央棟） 目 的：教育・研究・医療の実施 所 在 地：愛知県長久手市岩作雁又1番地1 設置年月：昭和49年6月（平成26年4月） 規 模 等：土地34,486.77㎡，建物85,755.82㎡</p> <p>名 称：愛知医科大学病院（C棟） 目 的：教育・研究・医療の実施 所 在 地：愛知県長久手市岩作雁又1番地1 設置年月：昭和57年1月 規 模 等：土地2,519.00㎡，建物16,926.68㎡</p> <p>名 称：愛知医科大学病院（D棟） 目 的：教育・研究・医療の実施 所 在 地：愛知県長久手市岩作雁又1番地1 設置年月：昭和63年4月 規 模 等：土地2,320.00㎡，建物11,326.03㎡</p> <p>名 称：総合学術情報センター（図書館部門） 目 的：学術情報の収集，管理，運用 所 在 地：愛知県長久手市岩作雁又1番地1 設置年月：昭和48年4月（平成11年9月） 規 模 等：建物2,336.00㎡</p> <p>名 称：総合学術情報センター（情報基盤部門） 目 的：情報処理教育の推進 所 在 地：愛知県長久手市岩作雁又1番地1 設置年月：昭和56年4月（平成11年9月） 規 模 等：建物662.93㎡</p>								

<p>附属施設の概要</p>	<p> 名称：加齢医科学研究所 目的：教育・研究の実施 所在地：愛知県長久手市岩作雁又1番地1 設置年月：昭和58年4月 規模等：土地3,566.00㎡，建物736.04㎡ </p> <p> 名称：分子医科学研究所 目的：教育・研究の実施 所在地：愛知県長久手市岩作雁又1番地1 設置年月：昭和63年4月 規模等：土地3,566.00㎡，建物801.93㎡ </p> <p> 名称：動物実験センター 目的：教育・研究の実施 所在地：愛知県長久手市岩作雁又1番地1 設置年月：昭和58年12月 規模等：土地3,566.00㎡，建物1,637.62㎡ </p> <p> 名称：核医学センター 目的：教育・研究の実施 所在地：愛知県長久手市岩作雁又1番地1 設置年月：昭和63年4月 規模等：土地3,566.00㎡，建物916.47㎡ </p> <p> 名称：運動療育センター 目的：運動処方及び運動整理に関する教育研究の実施 所在地：愛知県長久手市岩作雁又1番地1 設置年月：昭和62年10月 規模等：土地4,461.00㎡，建物3,544.18㎡ </p> <p> 名称：愛知医科大学病院 メディカルセンター 目的：教育・研究・医療の実施 所在地：愛知県岡崎市仁木町字川越17番地33 設置年月：令和3年2月 規模等：土地15,549.44㎡，建物16,792.38㎡ </p> <p> 名称：愛知医科大学病院 眼科クリニックMiRAI 目的：教育・研究・医療の実施 所在地：愛知県名古屋市東区東桜二丁目12番1号 設置年月：昭和58年6月（令和4年6月） 規模等：土地1,492.38㎡，建物2,714.63㎡ </p>
----------------	--

(注)

- 1 共同教育課程の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」，「新設研究科等の目的」，「新設研究科等の概要」，「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 2 「既設分」については，共同教育課程に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学院の研究科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「講義室等・新設研究科等の専任教員研究室」，及び「図書・設備」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「講義室等・新設研究科等の専任教員研究室」，「図書・設備」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 6 空欄には，「-」又は「該当なし」と記入すること。

教育課程等の概要																	
(看護学研究科看護学専攻博士後期課程)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外(助手を除く)の教員		
共通科目	看護科学哲学	1前	/	2			○			1					1	共同	
	看護学研究方法論	1前		2			○			2							
	高等社会統計学	1後			2			○									1
	看護教育学特論	1後			2			○									1
	小計(4科目)	-	-	4	4	0	-	-	-	3	0	0	0	0	0	3	
専門科目 (PhDコース)	基礎看護学	基礎看護学特論	1前	/	2			○			2	1				共同	
		基礎看護学演習	1後		2				○		2	2					
	精神看護学	精神看護学特論	1前		2				○			1					共同
		精神看護学演習	1後		2					○		1					
	感染看護学	感染看護学特論	1前		2				○			1	1				共同
		感染看護学演習	1後		2					○		1	1				
	母子看護学	母子看護学特論	1前		2				○			1	1				共同
		母子看護学演習	1後		2					○		1	1				
	成人看護学	成人看護学特論	1前		2				○			1	1				共同
		成人看護学演習	1後		2					○		1	1				
老年看護学	老年看護学特論	1前	2				○			1	1				共同		
	老年看護学演習	1後	2					○		1	1						
地域看護学	地域看護学特論	1前	2				○			2					共同		
	地域看護学演習	1後	2					○		2	1						
在宅看護学	在宅看護学特論	1前	2				○				2				共同		
	在宅看護学演習	1後	2					○			2						
高度実践看護学	高度実践看護学特論	1前	2				○			1	1				共同		
	高度実践看護学演習	1後	2					○		2	1						
	小計(18科目)	-	-	36	0	0	-	-	-	11	10	0	0	0	0		
専門科目 (DNPコース)	DNP特論I(組織論)	1前	/	2			○			1					1	共同	
	DNP特論II(政策論)	1前		2				○				1					1
	DNP演習	1後		2					○		10	8					
	小計(3科目)	-		-	6	0	0	-	-	-	10	8	0	0	0		2
研究科目	看護学特別研究	1前~3後	/	8				○		10	8					共同	
	DNPプロジェクト研究	1前~3後		6					○		9	8					
	小計(2科目)	-		-	14	0	0	-	-	-	10	8	0	0	0		0
合計(27科目)		-	-	60	4	0	-	-	-	11	10	0	0	0	5		
学位又は称号		博士(看護学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)									
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等								
<修了要件> 修了要件は、本博士後期課程に3年以上在籍し、所定の単位(18単位以上)を取得するとともに、必要な研究指導の下、研究計画審査及び研究倫理審査を経て、論文審査及び最終試験に合格する必要がある。 <履修方法> (1) 共通科目から必修科目4単位及び選択必修科目2単位以上を履修する。 (2) 専門科目について、PhDコースは2科目4単位を必修科目として履修する。DNPコースは3科目6単位を必修科目として履修する。 (3) 研究科目について、PhDコースは1科目8単位を必修科目として履修する。DNPコースは1科目6単位を必修科目として履修する。									1学年の学期区分			2期					
									1学期の授業期間			15週					
									1時限の授業の標準時間			90分					

教育課程等の概要																	
(看護学研究科看護学専攻修士課程)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外(助手を除く)の教員	
共通科目	看護理論	1前		2			○			1	1						
	看護倫理	1前		2			○			1	1					4	
	看護研究方法論Ⅰ	1前		2			○			2							
	現象学的看護学	1後			2		○			1						2	
	看護教育論	1前			2		○			1	1					3	
	看護管理論	1後			2		○			1	1					6	
	看護研究方法論Ⅱ	1前			2		○			1	1						
	コンサルテーション論	1後			2		○			1	1					3	
	看護政策論	1後			2		○				1					4	
	国際看護学	1後			2		○			1						2	
	英語文献講読	1後			2		○			1							
	基礎統計学演習	1後				1		○								1	
	フィジカルアセスメント	1前				2		○				3				3	
	臨床薬理学	1前				2		○		1	2					4	
	病態生理学	1前				2		○		1	1					6	
小計(15科目)		—	—	6	23	0	—	—	—	8	8	0	0	0	0	33	
専門科目	看護管理学	看護管理学特論Ⅰ	1前			2		○			1	1					4
		看護管理学特論Ⅱ	1後			2		○			1	1					5
		看護管理学演習	1前・後			4			○		1	1					
	母性看護学	母性看護学特論Ⅰ	1前				2		○				1				
		母性看護学特論Ⅱ	1前				2		○				1				
		母性看護学演習	1前・後			4				○			1				
	慢性看護学	慢性看護学特論Ⅰ	1前				2		○			1	2				
		慢性看護学特論Ⅱ	1後				2		○			1	2				
		慢性看護学演習	1前・後			4				○		1	2				
	精神看護学	精神看護学特論Ⅰ	1前				2		○			1					
		精神看護学特論Ⅱ	1前				2		○			1					
		精神看護学演習	1前・後			4				○		1					
	在宅看護学	在宅看護学特論Ⅰ	1前				2		○				2				1
		在宅看護学特論Ⅱ	1後				2		○				2				1
		在宅看護学演習	1前・後			4				○			2				
地域看護学	地域看護学特論Ⅰ	1前				2		○			2						
	地域看護学特論Ⅱ	1後				2		○			2	1					
	地域看護学演習	1前・後			4				○		2	1					
感染看護学	感染看護学特論Ⅰ	1前				2		○				2				5	
	感染看護学特論Ⅱ	1前				2		○				2				6	
	感染看護学演習Ⅰ	1前・後			4				○			2					
臨床実践看護学	臨床実践看護学特論Ⅰ	1前				2		○			1	1	2			1	
	臨床実践看護学特論Ⅱ	1前				2		○			1	1	2				
	臨床実践看護学演習	1前・後			4				○		1	1	1				
特別研究(修士論文)	2前・後				8				○		9	13	1	0	0	0	
小計(25科目)		—	—	0	72	0	—	—	—	11	13	2	0	0	0	12	
高度実践看護師(専門看護師「CNS」)コース	感染看護学	感染看護学特論Ⅰ	1前			2		○				2					5
		感染看護学特論Ⅱ	1前			2		○				2					6
		感染看護学特論Ⅲ	1後			2		○				2					3
		感染看護学特論Ⅳ	1前・後			2		○				2					8
		感染看護学特論Ⅴ	1前・後			2		○				3					7
		感染看護学演習Ⅰ	1前・後			4			○			2		1			
		感染看護学演習Ⅱ	1前・後			4			○			2		1			2
		感染看護学実習Ⅰ	1後			3				○		2					
		感染看護学実習Ⅱ	2前・後			4				○		2					
		感染看護学実習Ⅲ	2前・後			3				○		2					
		感染看護学課題研究	2前・後			4				○		2					
小計(11科目)		—	—	0	32	0	—	—	—	0	2	0	1	0	0	26	

専門科目	高度実践看護師（診療看護師〔NP〕）コース	臨床実践看護学	高度実践看護特論	1前・後		2		○		1	1	2			13	※演習	
			チーム医療・看護管理特論	1前・後		2		○		2	1	2			11	※演習	
			保健医療福祉システム特論	1後		2		○		2	3	2			4	※演習	
			臨床薬理学特論	1前・後		3		○		1	1	2			8		
			病態生理学特論	1前・後		5		○		1	1	2			25	オムニバス	
			疾病特論	1前・後		3		○		2	1	2			12	※演習	
			臨床推論	1前・後		3		○		1	1	2			8	※演習	
			フィジカルアセスメント演習	1前・後		2			○	1	1	2			8	※講義	
			呼吸器・循環器治療のための実践演習	1前・後		4			○	1	1	2			15	※講義	
			ドレーン管理のための実践演習	1前・後		2			○	1	1	2			5	※講義	
			疾病と治療 カテーテル管理と創傷管理	1前・後		3			○	1	1	2			11	※演習	
			疾病と治療 薬物治療 I	1前・後		3			○	1	2	2			14	※演習	
			疾病と治療 薬物治療 II	1前・後		3			○	1	3	2			17	※演習	
			人体構造演習	1後		1				1	2	2			3		
			クリティカルケア特論	1前・後		2			○	1	2	2			20	※演習	
			プライマリケア特論	1前・後		2			○	3	2	2			22	※演習	
			NP実習	2前・後		20				1	1	2			1		
			課題研究	2前・後		4				1	1	1					
			小計（18科目）			—	—	0	66	0	—	—	5	5	2	0	0
合計（69科目）			—	—	6	193	0	—	—	11	13	2	1	0	184		
学位又は称号		修士（看護学）		学位又は学科の分野		保健衛生学関係（看護学関係）											
卒業・修了要件及び履修方法		授業期間等															
		1 学年の学期区分					2 期										
		1 学期の授業期間					15 週										
		1 時限の授業の標準時間					90 分										
<p><修了要件> 修了要件は、本修士課程に2年以上在籍し、所定の授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○修士論文コース：30単位以上 ○高度実践看護師（専門看護師〔CNS〕コース）：46単位以上 ○高度実践看護師（診療看護師〔NP〕コース）：74単位以上 <p><履修方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ○修士論文コース 共通科目：必修科目6単位のほか、英語文献講読（2単位）を履修しなければならない（計14単位以上）。 専門科目：専攻領域の講義科目4単位及び演習科目4単位、特別研究8単位を履修しなければならない（計16単位以上）。 ○高度実践看護師（専門看護師〔CNS〕コース） 共通科目：必修科目6単位のほか、フィジカルアセスメント、臨床薬理学、病態生理学の3科目6単位を履修しなければならない。また、看護教育論、看護管理論、コンサルテーション論、看護政策論の中から2単位以上履修しなければならない（計14単位以上）。 専門科目：専攻領域の講義及び演習科目18単位、実習科目10単位、感染看護学課題研究4単位を履修しなければならない（計32単位以上）。 ○高度実践看護師（診療看護師〔NP〕コース） 共通科目：必修科目6単位のほか、英語文献講読（2単位）を履修しなければならない。また、看護教育論、看護管理論、コンサルテーション論、看護政策論の中から2単位以上履修しなければならない（計10単位以上）。 専門科目：専攻領域の講義及び演習科目40単位、実習科目20単位、課題研究4単位を履修しなければならない（計64単位以上）。 																	

教育課程等の概要																			
(看護学部)																			
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考				
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)以外の教員			
教養科目群	人文科学	国語表現法	1前	/	1				○			1				1	※講義		
		英語 I	1前	/	1				○			1					1	※講義	
		英語 II	1後	/	1				○			1					1	※講義	
		哲学	1前	/		1			○								1		
		文学	1前	/		1			○								1		
		教育学	1後	/		1			○								1		
		音楽	1後	/		1			○								1	※演習	
		医療英語	3前	/		1				○			1					1	※講義
		手話	3前	/		1				○							2	※講義	
		中国語	3前	/		1				○							1	※講義	
		スペイン語	3前	/		1				○							1	※講義	
	小計(11科目)	-	-		3	8	0		-			1	0	0	0	0	9		
	社会科学	憲法学	4前	/	2				○								1		
		文化人類学	3前	/		1			○								1		
経済学		3前	/		1			○								1			
家族社会学		3前	/		1			○								1			
小計(4科目)	-	-		2	3	0		-			0	0	0	0	0	4			
自然科学	統計学	1後	/	2				○								1	※演習		
	数学	1前	/		1			○								1	※演習		
	生命科学	1前	/		1			○								4			
	化学	1前	/		1			○								1			
	物理学	1前	/		1			○								1			
小計(5科目)	-	-		2	4	0		-			0	0	0	0	0	8			
情報科学	情報科学 I	1前	/	1					○							1	※講義		
	情報科学 II	1後	/	1					○							1	※講義		
	小計(2科目)	-	-		2	0	0		-			0	0	0	0	0	1		
専門基礎科目群	人間の理解	心理学	1前	/	2				○								1		
		人間学	1前	/	1				○								1		
		形態機能学 I	1前	/	2				○			1							
		形態機能学 II	1後	/	4				○								1		
		生化学	1後	/	2				○			1							
		社会福祉学	3前	/	2				○								1		
	小計(6科目)	-	-		13	0	0		-			1	0	0	0	0	4		
	健康の理解	感染・免疫学	1後	/	2				○			1					1		
		病理学	1後	/	1				○								4		
		薬理学	2前	/	1				○								2		
		病態治療学 I	2前	/	2				○			3					4	オムニバス	
		病態治療学 II	2前	/	2				○			2					6	オムニバス	
		病態治療学 III	2後	/	2				○			1					7	オムニバス	
		運動の科学	1前	/		1			○			1					1		
体育実技	1前	/		1				○							1				
小計(8科目)	-	-		10	2	0		-			3	0	0	0	0	26			
環境の理解	栄養学	1前	/	1				○								1			
	環境保健学	1前	/	1				○								1			
	公衆衛生学	1後	/	2				○			2					6	オムニバス		
	疫学	2前	/	2				○			1						※演習		
	保健医療福祉行政論 I	2後	/	1				○			1	1	1			2			
	保健医療福祉行政論 II	4前	/	1				○											
小計(6科目)	-	-		8	0	0		-			4	1	1	0	0	10			

看護学専門科目群	基礎看護	コミュニケーション論	1前	2			○			1	1	1			1	共同※演習	
		看護学原論Ⅰ	1前	1			○			1	2				1	※演習	
		看護学原論Ⅱ	1後	1			○			1	2				1	※演習	
		看護倫理	1後	1			○			1	1				1	※演習	
		ヘルスアセスメント	1後	1				○		1	4		2			共同※講義	
		基礎看護技術Ⅰ	1後	2				○		1	4		2			共同※講義	
		基礎看護技術Ⅱ	2前	1				○		1	4		2			共同※講義	
		感染看護学Ⅰ	1後	1				○		2						共同※演習	
		感染看護学Ⅱ	2前	1				○		2					1	共同※演習	
		看護過程論	2前	1					○		1	4		2			共同※講義
小計(10科目)	—	—	12	0	0		—		2	7	0	2	0	4			
地域・在宅看護	ヘルスプロモーション論	1前	1				○		1	1							
	災害看護学	1前～4前	1				○			2	2				6	共同※演習	
	公衆衛生看護学Ⅰ	2後	2				○		2	1	1						
	公衆衛生看護学Ⅱ	3前	1					○	1	1	1					共同※演習	
	地域・在宅看護論Ⅰ	3前	1					○		2		1			1		
	地域・在宅看護論Ⅱ	3後	2					○		2		1				※講義	
	保健指導論	3後	2					○		1	1	1				共同※演習	
	学校看護学	2後		1				○		1					2		
	産業看護学	2後		1				○		1					3	オムニバス	
	健康教育論	3前			1			○		1	1	1				※演習	
小計(10科目)	—	—	10	2	1		—		2	4	2	1	0	12			
ヘルスプロモーション看護	生涯発達論	1後	1				○			2		1			1	オムニバス	
	母性看護学Ⅰ	2前	2				○			1					共同※演習		
	小児看護学Ⅰ	2前	2				○		1	1		1		2	※演習		
	老年看護学Ⅰ	2前	2				○			1	1	2			共同※演習		
	家族看護学	2前	1				○			3				1	オムニバス		
小計(5科目)	—	—	8	0	0		—		1	5	1	4	0	4			
健康レベル別看護	母性看護学Ⅱ	2通	1					○		1	1	1	1			共同※講義	
	小児看護学Ⅱ	2通	1					○		1	1	1	1		3	共同※講義	
	老年看護学Ⅱ	2通	1					○		1	1	1	2			共同※講義	
	成人看護学Ⅰ	2後	2					○		1	2	1				共同※講義	
	成人看護学Ⅱ	3前	2					○		1	1	1	2			共同※講義	
	成人看護学Ⅲ	3前	2					○		1	1		1			共同※講義	
	精神看護学Ⅰ	2後	2					○		1			2			共同※講義	
	精神看護学Ⅱ	3前	1						○				2		1	共同※講義	
	クリティカルケア論	3前	1						○		1	2	2			共同※講義	
	ターミナルケア論	3前	1						○		2				2	共同※演習	
リハビリテーションケア論	3前	1						○		1				4	オムニバス		
小計(11科目)	—	—	15	0	0		—		3	7	4	9	0	10			
総合看護	教養ゼミナール	1前	1					○		4	1		12				
	チーム医療論(IPE)	1前～4後	1					○		2	4	1			10	共同	
	看護研究方法論	3前	1					○		2	1						
	実践看護英語	3後	1					○			2				1	共同※演習	
	国際看護学Ⅰ	3後	1					○		1	1				1	※演習	
	国際看護学Ⅱ	4前	1					○		1	1				1		
	看護管理論	4前	1						○	1	2				4	共同※講義	
	卒業研究Ⅰ	3後	1						○	4	14	6					
	卒業研究Ⅱ	4通	2						○	4	14	6					
小計(9科目)	—	—	10	0	0		—		9	15	6	12	0	16			
臨地実習	ヘルスプロモーション実習	ヒューマニティ実習	1前	1					○	8	12	3	6				
		コミュニティ実習	2通	1						1	2		1				
		母性看護学実習Ⅰ	2後	1						1	1		1				
		小児看護学実習Ⅰ	2後	1						1	1		1				
		老年看護学実習	2後	2						1	1	1	2				
	小計(5科目)	—	—	6	0	0		—		9	13	4	9	0	0		
	基礎看護実習	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1					○	1	4		2				
		基礎看護学実習Ⅱ	2前	2					○	1	4		2				
		形態機能学実習	2前	1					○	1	2	1	1			9	※演習
	小計(3科目)	—	—	4	0	0		—		2	5	1	3	0	9		
	健康レベル別実習	成人看護学実習Ⅰ	3後	2					○		1	1	2				
		成人看護学実習Ⅱ	3後	2					○	1	1		1				
		精神看護学実習	3後	2					○	1			2				
		母性看護学実習Ⅱ	3後	1					○		1	1	1				
		小児看護学実習Ⅱ	3後	1					○	1	1		1				
	小計(5科目)	—	—	8	0	0		—		3	4	2	7	0	0		
	アドバンスケア実習	地域・在宅看護実習	4前	2					○		2		1				
クリティカルケア実習		4前		1				○		1	1	2					
プライマリケア実習		4前		1				○	1	1		1					
小計(3科目)	—	—	2	2	0		—		1	4	1	4	0	0			
統合実習	統合看護実習	4後	3					○	6	14	6	12					
	小計(1科目)	—	—	3	0	0		—		6	14	6	12	0	0		
保健師課程実習	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	2					○	1	1	1						
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4前	3					○	1	1	1						
	小計(2科目)	—	—	5	0	0		—		1	1	1	0	0	0		
合計(106科目)		—	—	123	21	1		—		10	11	6	12	0	116		
学位又は称号		学士(看護学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)									

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週
	1 時限の授業の標準時間	90 分
<p><卒業要件 看護師課程 必修118単位, 選択 9 単位以上> 教養科目群: 必修 9 単位, 選択 6 以上 内訳 人文科学: 必修 3 単位, 選択 3 単位以上 社会科学: 必修 2 単位, 選択 1 単位以上 自然科学: 必修 2 単位, 選択 2 単位以上 情報科学: 必修 2 単位</p> <p>専門基礎科目群: 必修31単位, 選択 1 単位以上 内訳 人間の理解: 必修14単位 健康の理解: 必修10単位, 選択 1 単位以上 環境の理解: 必修 7 単位</p> <p>看護学専門科目群: 必修55単位, 選択 1 単位上 内訳 基礎看護: 必修12単位 地域・在宅看護: 必修10単位, 選択 1 単位以上 ヘルスプロモーション看護: 必修 8 単位 健康レベル別看護: 必修15単位 総合看護: 必修10単位</p> <p>臨地実習: 必修23単位, 選択 1 単位以上 内訳 ヘルスプロモーション実習: 必修 6 単位 基礎看護実習: 必修 4 単位 健康レベル別実習: 必修 8 単位 アドバンスケア実習: 必修 2 単位, 選択 1 単位以上 統合実習: 必修 3 単位</p> <p><卒業要件 保健師課程 必修126単位, 選択 8 単位以上> 教養科目群: 必修 9 単位, 選択 6 以上 内訳 人文科学: 必修 3 単位, 選択 3 単位以上 社会科学: 必修 2 単位, 選択 1 単位以上 自然科学: 必修 2 単位, 選択 2 単位以上 情報科学: 必修 2 単位</p> <p>専門基礎科目群: 必修31単位, 選択 1 単位以上 内訳 人間の理解: 必修14単位 健康の理解: 必修10単位, 選択 1 単位以上 環境の理解: 必修 7 単位</p> <p>看護学専門科目群: 必修58単位 内訳 基礎看護: 必修12単位 地域・在宅看護: 必修13単位(看護師課程の選択・自由科目が全て必修) ヘルスプロモーション看護: 必修 8 単位 健康レベル別看護: 必修15単位 総合看護: 必修10単位</p> <p>臨地実習: 必修28単位, 選択 1 単位以上 内訳 ヘルスプロモーション実習: 必修 6 単位 基礎看護実習: 必修 4 単位 健康レベル別実習: 必修 8 単位 アドバンスケア実習: 必修 2 単位, 選択 1 単位以上 統合実習: 必修 3 単位 保健師課程実習: 必修 5 単位</p>		

授 業 科 目 の 概 要				
(看護学研究科看護学専攻博士後期課程)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
共通科目	看護科学哲学		<p>哲学史・学問史における看護学思想史の変遷を探求し、看護学の学問的基盤を究明するとともに、看護実践・看護学の展望を教授・探究する。また、学生自らが探究する課題が、いかなる実践的・学問的位置づけにあるかを探求する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 看護実践の歴史的基盤 2 看護の概念の歴史的変遷 3 看護理論の歴史的変遷 4 看護学の学問性の発展の探究 5 哲学史・学問史とは何か 6 科学史：アリストテレスの哲学と学問 7 科学史：アリストテレスからデカルトへ 8 科学哲学：科学・学問の方法 9 科学哲学：クーンのパラダイム論 10 科学社会学：アカデミズム科学から科学技術と公共性 11 科学社会学：科学・学問の責務 12 科学史における現象学の意義 13 看護学における現象学が意味すること 14 学生各自の研究課題の哲学史・学問史的探究（1） 15 学生各自の研究課題の哲学史・学問史的探究（2） 	
	看護学研究方法論		<p>看護学研究における近年の新たな研究方法を教授・探求する。また、学生各自の修士論文等を相互にクリティークすることを通して研究方法の理解を深めるとともに、各自の研究課題に関連した国内外の文献の精読を通して、博士論文作成に必要な知識・技術・思考方法を修得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 看護学研究における研究方法の変遷 2 システマテック・レビューの意義と方法 3 看護科学における概念分析の意義とプロセス 4 概念分析の方法（1） 5 概念分析の方法（2） 6 概念分析の方法（3） 7 質的研究方法の批判的吟味 8 量的研究方法の批判的吟味（1） 9 量的研究方法の批判的吟味（2） 10 看護学研究における近年の研究手法（1）質的研究 11 看護学研究における近年の研究手法（2）量的研究 12 看護学研究における近年の研究手法（3）量的研究 13 学生各自の修士論文等の相互クリティーク 14 学生各自の研究手法再考（1） 15 学生各自の研究手法再考（2） 	
	高等社会統計学		<p>看護研究に必要な多変量解析についての理解を深めるために、統計学の基礎から応用までを学修し、博士論文作成に適用できる能力を涵養する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 統計学の基礎と要約統計量 2 統計学的検定 ① 3 統計学的検定 ② 4 統計学的検定 ③ 5 臨床研究デザイン 6 ランダム化比較試験に関する基礎 7 サンプルサイズ設計 8 観察研究と多変量解析 9 重回帰分析 10 ロジスティック回帰分析 11 主成分分析 12 因子分析 13 生存時間分析の基礎 14 傾向スコア分析 15 看護研究における統計的諸問題 	

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
共通科目	看護教育学特論		<p>教育実践の基礎理論を探究するとともに、看護学教育の変遷と展望を考察することを通して、自らの教育能力を涵養する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 教育実践と看護実践：看護の教育的機能 2 我が国における看護学教育制度の変遷と問題点 3 我が国における看護学教育制度の展望 4 教育実践における理論（1）行動学習理論 認知学習理論 5 教育実践における理論（2）状況的学習理論 成人学習理論 6 教育実践における理論（3）省察的実践理論 経験学習理論 7 教育実践における理論（4）変容的学習理論 8 看護の本質とケアリングカリキュラム（1） 9 看護の本質とケアリングカリキュラム（2） 10 看護の本質とケアリングカリキュラム（3） 11 看護の本質とケアリングカリキュラム（4） 12 看護教育における「省察的実践家」の教育（1） 13 看護教育における「省察的実践家」の教育（2） 14 看護教育における「省察的実践家」の教育（3） 15 看護教育における「省察的実践家」の教育（4） 	
	基礎看護学特論		<p>基礎看護学領域の研究動向を把握するとともに、学生各自の研究課題に関する国内外の文献を検討し、学生各自が研究課題を明確にしていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 理論看護学における研究の動向 2 看護における現象学的アプローチの意義 3 現象学的方法による看護研究の動向（1） 4 現象学的方法による看護研究の動向（2） 5 医療安全に関する国内研究動向（1） 6 医療安全に関する海外研究動向（2） 7 医療安全教育に関する研究の動向 8 看護理工学の基礎 9 看護技術の理工学的探求（1） 10 看護技術の理工学的探求（2） 11 医療予防に向けた理工学的取り組み -転倒予防- 12 学生各自の研究課題に関する文献検討（1） 13 学生各自の研究課題に関する文献検討（2） 14 学生各自の研究課題に関わる概念分析（1） 15 学生各自の研究課題に関わる概念分析（2） 	
専門科目	PhDコース	基礎看護学演習	<p>学生の研究課題を具体的に展開するための基盤となる方法論を明確にし、先行研究を批判的に吟味することを通して、研究計画を確定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・2 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（1） 3・4 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（2） 5・6 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（3） 7・8 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（4） 9・10 先行研究における研究方法論の探究（1）研究疑問の設定 11・12 先行研究における研究方法論の探究（2）研究方法の決定 13・14 先行研究における研究方法論の探究（3）データ分析方法の選択 15・16 先行研究における研究方法論の探究（4）学術論文の記載方法 17・18 自らの研究の研究方法の探求（1）理論的根拠 19・20 自らの研究の研究方法の探求（2）倫理的検討 21～28 研究計画書の作成 29・30 研究計画の発表 	共同

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専 門 科 目	P h D コ ー ス	精神看護学特論	<p>精神看護学領域の研究動向を把握するとともに、学生各自の研究課題に関する国内外の文献を検討し、学生各自が研究課題を明確にしていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 精神看護臨床における理論・研究活用状況の検討 2 精神看護学における研究の動向（1） 3 精神看護学における研究の動向（2） 4 精神看護学における研究方法論の検討（1） 5 精神看護学における研究方法論の検討（2） 6 精神看護学における当事者を対象とした研究の実際（1） 7 精神看護学における当事者を対象とした研究の実際（2） 8 精神障害者と家族（1） 9 精神障害者と家族（2） 10 精神看護学教育（1） 11 精神看護学教育（2） 12 学生各自の研究課題に関する文献検討（1） 13 学生各自の研究課題に関する文献検討（2） 14 学生各自の研究課題に関わる概念分析（1） 15 学生各自の研究課題に関わる概念分析（2） 	
		精神看護学演習	<p>学生の研究課題を具体的に展開するための基盤となる方法論を明確にし、先行研究を批判的に吟味することを通して、研究計画を確定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・2 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（1） 3・4 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（2） 5・6 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（3） 7・8 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（4） 9・10 先行研究における研究方法論の探究（1）研究疑問の設定 11・12 先行研究における研究方法論の探究（2）研究方法の決定 13・14 先行研究における研究方法論の探究（3）データ分析方法の選択 15・16 先行研究における研究方法論の探究（4）学術論文の記載方法 17・18 自らの研究の研究方法の探求（1）理論的根拠 19・20 自らの研究の研究方法の探求（2）倫理的検討 21～28 研究計画書の作成 29・30 研究計画の発表 	
		感染看護学特論	<p>感染看護学領域の研究動向を把握するとともに、学生各自の研究課題に関する国内外の文献を検討し、学生各自が研究課題を明確にしていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 感染症と感染看護学における研究動向（1） 2 感染症と感染看護学における研究動向（2） 3 医療関連感染対策に関する研究（1） 4 医療関連感染対策に関する研究（2） 5 医療関連感染対策に関する研究（3） 6 感染看護学と倫理（1） 7 感染看護学と倫理（2） 8 学生各自の研究課題に関連する文献検討（1） 9 学生各自の研究課題に関連する文献検討（2） 10 学生各自の研究課題に関連する文献検討（3） 11 学生各自の研究課題に関連する文献検討（4） 12 学生各自の研究課題に関連する文献検討（5） 13 学生各自の研究課題に関連する文献検討（6） 14 学生各自の研究課題に関連する文献検討（7） 15 学生各自の研究課題に関連する文献検討（8） 	
		感染看護学演習	<p>学生の研究課題を具体的に展開するための基盤となる方法論を明確にし、先行研究を批判的に吟味することを通して、研究計画を確定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・2 学生の研究課題に関連する研究方法（1） 3・4 学生の研究課題に関連する研究方法（2） 5・6 学生の研究課題に関連する研究方法（3） 7・8 学生の研究課題に関連する研究方法（4） 9・10 学生の研究課題に関連する研究方法（5） 11・12 学生の研究課題に関連する研究方法（6） 13・14 研究計画に関する検討（倫理的配慮を含む）（1） 15・16 研究計画に関する検討（倫理的配慮を含む）（2） 17・18 研究計画に関する検討（倫理的配慮を含む）（3） 19・20 研究計画に関する検討（倫理的配慮を含む）（4） 21～30 研究倫理申請書の作成（計画書の作成完了） 	共同

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専 門 科 目	P h D コ ー ス	母子看護学特論	<p>母子看護学領域の研究動向を把握するとともに、学生各自の研究課題に関する国内外の文献を検討し、学生各自が研究課題を明確にしていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス・母子看護学における研究動向 2 母性看護学における研究動向 3 周産期メンタルヘルスに関する最新の知見と課題 4 周産期メンタルヘルスに関する海外の研究動向 5 家族理論を用いた養育期の家族の理解 6 Dyadic dataを用いた家族の評価と介入 7 小児看護学における研究動向 8 子どもと家族中心のケアに関する国内外の研究動向 9 子どもと家族の相互作用を支える看護に関する研究：評価ツールの作成と活用 10 小児看護実践現場の改革を目指す研究：看護実践研究による人材育成と組織改革 11 子どもの育ちを支えるケアシステムの構築に関する研究の開発 12 学生各自の研究課題に関する文献検討（1） 13 学生各自の研究課題に関する文献検討（2） 14 学生各自の研究課題に関わる概念分析（1） 15 学生各自の研究課題に関わる概念分析（2） 	
		母子看護学演習	<p>学生の研究課題を具体的に展開するための基盤となる方法論を明確にし、先行研究を批判的に吟味することを通して、研究計画を確定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・2 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（1） 3・4 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（2） 5・6 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（3） 7・8 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（4） 9・10 先行研究における研究方法論の探究（1）研究疑問の設定 11・12 先行研究における研究方法論の探究（2）研究方法の決定 13・14 先行研究における研究方法論の探究（3）データ分析方法の選択 15・16 先行研究における研究方法論の探究（4）学術論文の記載方法 17・18 自らの研究の研究方法の探求（1）理論的根拠 19・20 自らの研究の研究方法の探求（2）倫理的検討 21～28 研究計画書の作成 29・30 研究計画の発表 	共同
		成人看護学特論	<p>成人看護学領域の研究動向を把握するとともに、学生各自の研究課題に関する国内外の文献を検討し、学生各自が研究課題を明確にしていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 行動変容へのアプローチ（1）：行動変容理論と禁煙支援 2 行動変容へのアプローチ（2）：行動変容の促進要因・阻害要因 3 行動変容プログラムの実際（1）：看護師による禁煙支援プログラムの構築 4 行動変容プログラムの実際（2）：チーム作りと多職種連携 5 行動変容プログラムの開発（1）オンライン／セルフヘルププログラム 6 行動変容プログラムの開発（2）グループプログラム 7 看護におけるシミュレーション教育プログラムの検討 8 成人看護学におけるがん看護に関わる研究動向：がんと喫煙 9 成人看護学におけるがん看護に関わる研究動向：前立腺がん 10 前立腺がん治療に関わる諸現象（1）：前立腺がん治療の現状と課題 11 前立腺がん治療に関わる諸現象（2）：治療過程における患者と家族の経験 12 学生各自の研究課題に関する文献検討（1） 13 学生各自の研究課題に関する文献検討（2） 14 学生各自の研究課題に関わる概念分析（1） 15 学生各自の研究課題に関わる概念分析（2） 	

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目	P h D コー ス	成人看護学演習	<p>学生の研究課題を具体的に展開するための基盤となる方法論を明確にし、先行研究を批判的に吟味することを通して、研究計画を確定する。</p> <p>1・2 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（1） 3・4 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（2） 5・6 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（3） 7・8 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（4） 9・10 先行研究における研究方法論の探究（1）研究疑問の設定 11・12 先行研究における研究方法論の探究（2）研究方法の決定 13・14 先行研究における研究方法論の探究（3）データ分析方法の選択 15・16 先行研究における研究方法論の探究（4）学術論文の記載方法 17・18 自らの研究の研究方法の探求（1）理論的根拠 19・20 自らの研究の研究方法の探求（2）倫理的検討 21～28 研究計画書の作成 29・30 研究計画の発表</p>	共同
		老年看護学特論	<p>老年看護学領域の研究動向を把握するとともに、学生各自の研究課題に関する国内外の文献を検討し、学生各自が研究課題を明確にしていく。</p> <p>1 老年看護学における国内の研究動向 2 老年看護学における海外の研究動向 3 老年看護学研究と主要な看護現象 4 老年看護学における倫理的課題 5 高齢者と家族介護者のQOL 6 認知症高齢者とQOL 7 高齢者ケア施設における看護 8 高齢者へのレミニッセンス療法（1） 9 高齢者へのレミニッセンス療法（2） 10 認知症高齢者に対する写真療法（1） 認知症治療にける非薬物療法の位置づけ、芸術療法の評価指標とアウトカム 11 認知症高齢者に対する写真療法（2） 認知症高齢者のための写真療法プログラムの開発と検証 12 学生各自の研究課題に関する文献検討（1） 13 学生各自の研究課題に関する文献検討（2） 14 学生各自の研究課題に関わる概念分析（1） 15 学生各自の研究課題に関わる概念分析（2）</p>	
		老年看護学演習	<p>学生の研究課題を具体的に展開するための基盤となる方法論を明確にし、先行研究を批判的に吟味することを通して、研究計画を確定する。</p> <p>1・2 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（1） 3・4 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（2） 5・6 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（3） 7・8 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（4） 9・10 先行研究における研究方法論の探究（1）研究疑問の設定 11・12 先行研究における研究方法論の探究（2）研究方法の決定 13・14 先行研究における研究方法論の探究（3）データ分析方法の選択 15・16 先行研究における研究方法論の探究（4）学術論文の記載方法 17・18 自らの研究の研究方法の探求（1）理論的根拠 19・20 自らの研究の研究方法の探求（2）倫理的検討 21～28 研究計画書の作成 29・30 研究計画の発表</p>	共同

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目	PhDコース	地域看護学特論	<p>地域看護学領域の研究動向を把握するとともに、学生各自の研究課題に関する国内外の文献を検討し、学生各自が研究課題を明確にしていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニティヘルスに関わる研究動向 2 国際保健・看護に関わる研究動向 3 在留外国人の健康課題と看護（1） 4 在留外国人の健康課題と看護（1） 5 国際保健・看護分野における活動（1） 6 国際保健・看護分野における活動（2） 7 保健師活動の変遷 8 公衆衛生看護に関わる研究動向 9 公衆衛生看護における活動（1） 10 公衆衛生看護における活動（2） 11 保健師の人材育成 12 学生各自の研究課題に関する文献検討（1） 13 学生各自の研究課題に関する文献検討（2） 14 学生各自の研究課題に関わる概念分析（1） 15 学生各自の研究課題に関わる概念分析（2） 	
		地域看護学演習	<p>学生の研究課題を具体的に展開するための基盤となる方法論を明確にし、先行研究を批判的に吟味することを通して、研究計画を確定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・2 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（1） 3・4 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（2） 5・6 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（3） 7・8 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（4） 9・10 先行研究における研究方法論の探究（1）研究疑問の設定 11・12 先行研究における研究方法論の探究（2）研究方法の決定 13・14 先行研究における研究方法論の探究（3）データ分析方法の選択 15・16 先行研究における研究方法論の探究（4）学術論文の記載方法 17・18 自らの研究の研究方法の探求（1）理論的根拠 19・20 自らの研究の研究方法の探求（2）倫理的検討 21～28 研究計画書の作成 29・30 研究計画の発表 	共同
		在宅看護学特論	<p>在宅看護学領域の研究動向を把握するとともに、学生各自の研究課題に関する国内外の文献を検討し、学生各自が研究課題を明確にしていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 在宅看護学領域における研究動向（1） 2 在宅看護学領域における研究動向（2） 3 在宅看護における家族ケア 家族・遺族のニーズとケア・評価 4 在宅看護における終末期ケア（1）実践事例のニーズ分析とケア・評価 5 在宅看護における終末期ケア（2）実践の質に影響する要因と課題 6 在宅看護と災害支援（1）災害時要配慮者の被災と支援 7 在宅看護と災害支援（2）減災・災害マネジメント 8 野宿生活者の生活支援（1）健康の社会的決定要因 9 野宿生活者の生活支援（2）社会階層と健康格差 10 野宿生活者の生活支援（3）社会保障と野宿生活者 11 野宿生活者の看護支援 12 学生各自の研究課題に関する文献検討（1） 13 学生各自の研究課題に関する文献検討（2） 14 学生各自の研究課題に関わる概念分析（1） 15 学生各自の研究課題に関わる概念分析（2） 	

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専 門 科 目	P h D コ ー ス	在宅看護学演習	<p>学生の研究課題を具体的に展開するための基盤となる方法論を明確にし、先行研究を批判的に吟味することを通して、研究計画を確定する。</p> <p>1・2 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（1） 3・4 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（2） 5・6 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（3） 7・8 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（4） 9・10 先行研究における研究方法論の探究（1）研究疑問の設定 11・12 先行研究における研究方法論の探究（2）研究方法の決定 13・14 先行研究における研究方法論の探究（3）データ分析方法の選択 15・16 先行研究における研究方法論の探究（4）学術論文の記載方法 17・18 自らの研究の研究方法の探求（1）哲学的根拠 19・20 自らの研究の研究方法の探求（2）倫理的検討 21～28 研究計画書の作成（1）～（4） 29・30 研究計画の発表</p>	共同
		高度実践看護学特論	<p>高度実践看護学領域の研究動向を把握するとともに、学生各自の研究課題に関する国内外の文献を検討し、学生各自が研究課題を明確にしていく。</p> <p>1 高度実践看護の歴史と発展、概念化、定義、哲学的基盤 2 高度実践看護の役割、コンピテンシー 3 高度実践看護の政策課題、法的規制 4 高度実践看護のアウトカム 5 高度実践看護学領域における研究動向：海外 6 高度実践看護学領域における研究動向：国内 7 高度実践看護のエビデンス：身体ケア 8 高度実践看護のエビデンス：日常生活行動とQOL 9 高度実践看護のエビデンス：高齢者のディジーズマネジメント 10 高度実践看護のエビデンスの実装 11 高度実践看護師における高度実践看護の実践 12 学生各自の研究課題に関する文献検討（1） 13 学生各自の研究課題に関する文献検討（2） 14 学生各自の研究課題に関わる概念分析（1） 15 学生各自の研究課題に関わる概念分析（2）</p>	
		高度実践看護学演習	<p>学生の研究課題を具体的に展開するための基盤となる方法論を明確にし、先行研究を批判的に吟味することを通して、研究計画を確定する。</p> <p>1・2 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（1） 3・4 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（2） 5・6 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（3） 7・8 学生の研究課題に関わる国内外の文献の精読・クリティーク（4） 9・10 先行研究における研究方法論の探究（1）研究疑問の設定 11・12 先行研究における研究方法論の探究（2）研究方法の決定 13・14 先行研究における研究方法論の探究（3）データ分析方法の選択 15・16 先行研究における研究方法論の探究（4）学術論文の記載方法 17・18 自らの研究の研究方法の探求（1）理論的根拠 19・20 自らの研究の研究方法の探求（2）倫理的検討 21～28 研究計画書の作成 29・30 研究計画の発表</p>	共同

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目	DNPコース	DNP特論Ⅰ（組織論）	<p>DNPコースでは看護実践の質向上・変革を推し進めることのできる人材を育成する。本科目では、看護実践の質の向上に向けた組織変革に必要な基礎知識を学修し、DNPとして取り組む組織改革に必要な自組織の分析をもとに、課題を明確化することをめざすものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業ガイダンス 組織の構造と機能，時代の変化とパラダイムシフト 現代的な組織をめぐる話題 2 組織に関する諸理論 3 ヘルスケア組織の特徴と生じやすい諸現象 リーダーシップ，チームワーク，コミュニケーション，コンフリクト，モチベーション 4 組織分析の方法と活用 大学院生の自組織の分析 5 組織開発・変革のモデル・理論 6 組織開発・変革のモデル・理論 7 ヘルスケア組織におけるリーダーシップスタイル 大学院生の自組織におけるリーダーシップスタイルの分析 8 組織の開発・変革に必要なリーダーシップの要素 大学院生の持つリーダーシップの傾向と強みの分析 9 組織開発及び変革の事例① 10 組織開発及び変革の事例② 11 大学院生の自組織の分析①（ディスカッション） 12 大学院生の自組織の分析②（ディスカッション） 13 組織の開発・変革に向けた課題の明確化と解決に向けたプラン① 14 組織の開発・変革に向けた課題の明確化と解決に向けたプラン② 15 まとめ 	
		DNP特論Ⅱ（政策論）	<p>実践の質向上・組織変革に必要な政策に関する知識を教授し、プロジェクト策定への方向性を探求する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 看護における政策とは 2 看護制度の特徴と政策課題 3 看護制度の歴史的変遷 4 看護制度の国際比較 5 看護の政策過程（1） 6 看護の政策過程（2） 7 看護の政策過程（3） 8 政策展開のエビデンス 9 看護の政策展開（1） 10 看護の政策展開（2） 11 学生各自のプロジェクトに関わる政策論的探究（1） 12 学生各自のプロジェクトに関わる政策論的探究（2） 13 学生各自のプロジェクトに関わる政策論的探究（3） 14 学生各自のプロジェクトに関わる政策論的探究（4） 15 まとめ：看護制度と政策 	
		DNP演習	<p>DNP特論Ⅰ及びDNP特論Ⅱで得た知識に基づいて、学生自らが設定するプロジェクトを探求する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・2 現状分析①：臨床実践環境における看護ニーズと組織理解 3・4 現状分析②：プロジェクトの目的と意義の明確化 5・6 学生各自のプロジェクト（案）に関わる文献検討：EBIの概念の適用 7・8 学生各自のプロジェクト（案）に関わる文献検討：EBI戦略の適用 9・10 学生各自のプロジェクト（案）に関わる文献検討：理論的正当化 11・12 EBIとリーダーシップの役割遂行 13・14 プロジェクト候補の特定 15・16 内的セッティング（実装風土）の分析とバリアの克服 17・18 多職種チームおよびステークホルダーの選定 19・20 実装戦略：EBIに基づいた計画① 21・22 実装戦略：EBIに基づいた計画② 23・24 実装戦略：倫理的配慮 25・26 実装アウトカムの設定と評価指標の選定 27・28 クリニカルアウトカムの設定と評価指標の選定 29・30 学生各自のプロジェクト計画の発表 	共同

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
研究科目	看護学特別研究		<p>学生が専攻する看護学領域における自らの課題の研究動向に精通し、自立して課題を探求し学位論文を完成させる。この過程を通して、看護専門職者として、教育を担いうる能力と、自律して活動できる研究能力を培う。</p> <p>指導者の指導内容は、以下のとおりである。</p> <p><基礎看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1：高橋照子 看護現象の理論的解明に関する研究、パースィ理論の実証研究、看護教育に関する研究を指導する。 ・ 11：山中真 看護技術などの可視化に向けた研究について、測定機器や解析ソフトを用いて工学的視点から明らかにすることを目的に、測定機器の取り扱いや得られたデータの解析・分析手法について指導する。ヒヤリハット分析や事故事例を用いた統計解析など量的なデータを用いて組織安全を目的とした研究について指導する。 ・ 18：山本恵美子 研究指導を補佐する。 <p><精神看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10：心光世津子 精神障害を抱える当事者と家族の体験の理解ならびに精神看護教育学領域の看護実践や教育に関する研究を指導する。関心テーマの探究過程を通して、精神障害を抱える当事者のリカバリーに寄与する研究課題を見いだすことへ向けた指導を行う。 <p><感染看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5：矢野久子 感染看護は、病院・各種施設や在宅など様々な場で、人々の健康に寄与するよう実践されている。感染看護学を探求し新たな知見を創出できるように、個人または集団に対して、多角的な研究アプローチ法を用いて研究を行う。[特別研究]では、感染看護学全般、医療関連感染とその予防に関する指導をする。 ・ 14：青山恵美 研究指導を補佐する。 <p><母子看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 15：山本弘江 周産期メンタルヘルスに関わる家族に対し、特にDyadic Dataを活用して相互作用や関係性を解明する研究を指導する。また、養育期の家族の現象に対し、家族看護理論を応用した家族への看護介入研究を指導する。 ・ 8：茂本咲子 子どもと家族中心のケアモデルに関する研究、子どもと家族の相互作用を支える看護モデルに関する研究、子どもの育ちを支えるケアシステムに関する研究、新生児看護・小児看護教育に関する研究を指導する。 <p><成人看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9：谷口千枝 成人期の患者の疾病と生活習慣および予防行動との関連性をBig dataを用いて縦断的に分析する。その結果から、それらに関わる患者、家族の生活や社会適用、看護師らの患者指導に焦点を当てた研究を行う。 ・ 19：林さえ子 研究指導を補佐する。 <p><老年看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3：勝野とわ子 認知症者および介護家族に関するケア開発と評価、慢性疾患をもつ高齢者およびケア提供者に関するケア開発と評価などを指導する。 ・ 12：荻野朋子 研究指導を補佐する。 	

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
研究科目	看護学特別研究		<p><地域看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4：坂本真理子 アジア諸国の医療過疎地域における看護活動，在留外国人の健康支援，中山間地域における健康づくり活動等フィールド型の看護研究並びに保健師の歴史に関する研究を指導する。 ・ 7：若杉里実 地域における個人および集団・地域組織の保健活動（親子，成人，高齢者，障がい児（者），在留外国人，難病，精神，感染症，災害，産業，学校）の実践の質の向上を目指した研究，保健師の人材育成に関する研究，公衆衛生看護学教育に関する研究を指導する。 <p><在宅看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 13：佐々木裕子 在宅看護実践に関する研究，ターミナルケアに関する研究，災害支援および減災対策とその仕組みづくりに関する研究を指導する。 ・ 17：白井裕子 研究指導を補佐する。 <p><高度実践看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2：松尾ミヨ子 知識や技術の精練により保健医療の推進とイノベーションをめざし，看護ケアの質について探求する研究，エビデンスに基づく看護実践について探求し，アウトカムの改善を導く看護実践，看護実践と効果的アウトカムの開発に資する研究を指導する。 ・ 21：黒澤昌洋 高度実践看護分野の専門的臨床領域において患者及び集団の健康状態を改善するための高度な看護実践に関する研究について指導する。特に，看護学を基盤とした理論的・哲学的な視点を踏まえて，人々が経験する健康現象の理解と求められる看護実践を明らかにするための研究と論文作成を指導する。 	
	DNPプロジェクト研究		<p>実践の質向上あるいは組織変革を目指す学生自らの「プロジェクト」を明確にし，企画・実装・評価の過程を自立して遂行し，学位論文として完成させる。この過程を通して，看護専門職者としての研究能力と，実践の場における変革者としての能力を培う。</p> <p>指導者の指導内容は，以下のとおりである。</p> <p><基礎看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11：山中真 看護技術などの可視化に向けた実装的研究について，測定機器や解析ソフトを用いて工学的視点から明らかにすることを目的に，測定機器の取り扱いや得られたデータの解析・分析手法について指導する。ヒヤリハット分析や事故事例を用いた統計解析など量的なデータを用いて組織安全を目的とした実装的研究について指導する。 ・ 18：山本恵美子 看護管理に関連する分野の研究について，健康心理学や組織行動論などの周辺理論の活用をとおして，組織変革を目指した量的研究や介入研究について指導する。 <p><精神看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10：心光世津子 精神看護学領域の看護実践や教育に関するプロジェクト研究を指導する。関心テーマの探究過程を通して，精神障害を抱える当事者のリカバリーに寄与する視点を基盤として研究課題を見だし実践につなげることへ向けた指導を行う。 <p><感染看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5：矢野久子 感染看護は，病院・各種施設や在宅など様々な場で，人々の健康に寄与するよう実践されている。感染看護学を探究し新たな知見を創出できるように，個人または集団に対して，多角的な研究アプローチ法を用いて研究を行う。[DNPプロジェクト研究]では，・高度看護実践の観点からの感染看護学全般，・高度看護実践の観点からの医療関連感染とその予防に関する実装的研究を指導する。 ・ 14：青山恵美 研究指導を補佐する。 	

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
研究科目	DNPプロジェクト研究		<p><母子看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・15：山本弘江 リプロダクティブヘルスに関する看護実践場面におけるアウトリーチ型多職種連携プロジェクトの実装的研究を指導する。 ・8：茂本咲子 子どもと家族中心のケアモデルに関する研究，子どもと家族の相互作用を支える看護モデルに関する研究，子どもの育ちを支えるケアシステムに関する研究，新生児看護・小児看護実践現場の改革を目指す研究を実装的に指導する。 <p><成人看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・9：谷口千枝 EBIに沿った行動変容プログラムやセルフマネジメントプログラムの臨床場面への適用に関する実装的研究を指導する。 ・19：林さえ子 研究指導を補佐する。 <p><老年看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3：勝野とわ子 認知症者および介護家族に関するケア開発と評価、慢性疾患をもつ高齢者およびケア提供者に関するケア開発と評価などを指導する。 ・12：荻野朋子 研究指導を補佐する。 <p><地域看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4：坂本真理子 アジア諸国の医療過疎地域における看護活動，在留外国人の健康支援，中山間地域における健康づくり活動等，地域を基盤とした看護活動の質向上を目指したフィールドワーク型の実装的研究を指導する。 ・7：若杉里実 地域における個人および集団・地域組織の保健活動（親子、成人、高齢者、障がい児（者）、在留外国人、難病、精神、感染症、災害、産業、学校）の実践の質の向上を目指した実装的研究、保健師の人材育成に関するプロジェクトの実装的研究などを指導する。 <p><在宅看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・13：佐々木裕子 在宅看護実践に関する研究，ターミナルケアに関する研究，災害支援および減災への対策および仕組みづくりに関する研究などの実装的研究を指導する。 ・17：白井裕子 研究指導を補佐する。 <p><高度実践看護学領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2：松尾ミヨ子 知識や技術の精練により保健医療の推進とイノベーションをめざし、看護ケアの質について探求する実装的研究，エビデンスに基づく看護実践について探求し、アウトカムの改善を導く看護実践、看護実践と効果的アウトカムの開発に資する実装的研究を指導する。 ・21：黒澤昌洋 高度実践看護分野の専門的臨床領域において患者及び集団の健康状態を改善するための高度な看護実践に関する実装的研究について指導する。特に，専門看護師やNP養成課程修了者等が，自ら臨床実践を行っている領域に関する患者の健康現象と組織の課題を明らかにし，エビデンスに基づいた実践と組織変革によって，患者のアウトカムと組織の実践の質向上ももたらすプロジェクトと論文作成を指導する。 	

学校法人愛知医科大学 設置認可等に関する組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
愛知医科大学				愛知医科大学				
医学部				医学部				
医学科(6年制)	115	—	690	医学科(6年制)	115	—	690	
看護学部				看護学部				
看護学科	100	—	400	看護学科	100	—	400	
計	215	—	1,090	計	215	—	1,090	
愛知医科大学大学院				愛知医科大学大学院				
医学研究科				医学研究科				
基礎医学系専攻(4年制D)	13	—	52	基礎医学系専攻(4年制D)	13	—	52	
臨床医学系専攻(4年制D)	17	—	68	臨床医学系専攻(4年制D)	17	—	68	
看護学研究科				看護学研究科				
看護学専攻(2年制M)	15	—	30	看護学専攻(2年制M)	15	—	30	
				看護学専攻(3年制D)	4	—	12	課程変更(認可申請)
計	45	—	150	計	49	—	162	